

Subject: [oshiekata-himeji:00070] 【はじめての特別支援ナビ_10】

From: 許 鍾萬 <ho@hkg.odn.ne.jp>

Date: 2018/04/24 22:12

To: oshiekata-himeji@toskansai.jp

★教え方セミナー姫路 公式HP

<https://oshiekata-himeji.jimdo.com/>

=====

TOSS教え方セミナー姫路会場
事務局の許鍾萬です。

【はじめての特別支援ナビ】 ファイナルです。

■ 波に乗るか、荒れはじめるか

通常学級も特別支援学級も
年度始めの学級経営がうまくいくと
この時期から学級のシステムが乗って行きます。
ここからGWにかけては、波に乗る期間になります。
些細なトラブルはあったとしても
全体的に「心地よさ」が上がってくる時期です。

しかし、各地の特別支援学級では
「荒れが最高潮」を迎えようとする時期でもあります。

「異学年」で
「複数人（最高で8人）」さらに
「様々な障がいを持つ」子供たちを
一つの教室で授業して行くのです。

本ナビでも度々紹介した
長野県の小嶋悠紀先生は
『 究極の複式学級 』 と表現しました。

二次障がいを持っている児童がいれば
別のケアも必要になってきます。

その授業を回すシステムを
小嶋悠紀先生は次のように解説されました。
(私もこの方法で上手くいきました。)

=====

< 1 >

まず、「五段トレー式学習システム」。

五段のトレーに45分間の授業内容を
一段一段に入れることで
「五段終われば授業は終わる」という見通しがつきます。

トレーの中に、教科書も入っています。

ここに工夫があります。

「教師とともに授業をする教科書の棚を一人一人ずらす」
ことで、教師が一人でも、混乱しないようになっています。
時間差をつけて個別指導ができるように設計しています。

< 2 >

次に、「一人で学習できるパーツ」。

このパーツを授業に組み込むことが最大に重要です。
「自学」といいます。

絵本「あたまげんきどこどこ」

「TOSS Kid's schoolの教材」

「辞書引き」

「文法問題」

「あかねこかんじスキル」

「あかねこ名文すきる」

「うつしまるくん」

「お手本くん」 などとても自学に優れています。

あとはネット上にある

「どりる出来すぎくん」なども自学にとっても使えます。

自学の内容は

「当該学年の内容を入れない」ことがポイントです。

当該学年の内容だと、

質問が出たり、「先生できない！」という状況を
生んでしまうからです。

「1～2学年下の内容」を複数枚用意すること。

これが大切なポイントです。

< 3 >

そして、教師の心構えとして

「45分間授業をしようと思わない」ことです。

精神的に疲弊してしまいます。

「30分間できたら120点。20分で100点」
と思うことが重要です。

残りの時間は、

カードゲーム、board gameなどをしながら

「ソーシャルスキルの向上」や

「二者関係の向上」を狙う時間として使います。

このような実践を、

映像や実物資料などをもとに

具体的にシェアする場が

自主権（サークル例会）です。

今回も、4月の実践をシェアできればと思います。

途中退席、途中参加も自由です。

悩み相談、教材研究も可能です。

お気軽にどうぞ。

1 日時：4月26日(木)
18:30~20:30

18:30~19:00 ミニ講座
19:00~19:15 休憩 ※ここで退席可
19:15~20:30 授業検討、レポート検討

2 場所：姫路じばさんビル 402会議室

3 会費：500円(会場費の実費)

4 例会テーマ(20分程度のミニ講座)

=====
4月例会 4月26日
保護者を巻き込む授業参観・学級懇談の進め方(TOSSランド)
"TOSSランドを活用すれば知的で盛り上がる授業ができる。
初めての授業参観や学級懇談で保護者の心の取っ手をつかむ。"
=====